

第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会 開催のお知らせ (第 5 報)

第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会を「感染制御における Best Practice の追求」をテーマとして、東京都港区において開催いたします。感染症制御に日常携わる医師、看護師、薬剤師、検査技師など多くの方々のご参加をお待ちしております。

11 月 17 日 (金) より宿泊予約をホームページより受け付けております。2 月 7 日 (水) が締め切りとなります。

※事前参加登録は終了いたしましたので、当日の御参加をお待ちしております。

【第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会 開催概要】

1. 会 長：針原 康 (NTT 東日本関東病院 副院長・外科部長)
2. テーマ：「感染制御における Best Practice の追求」
3. 会 期：平成 30 年 (2018 年) 2 月 23 日 (金)～24 日 (土)
4. 会 場：グランドプリンスホテル新高輪, 国際館パミール, グランドプリンスホテル高輪
5. 学術プログラム (12 月 21 日現在)
 - 会長講演 「外科診療と感染対策」
 - 副会長講演
 - 理事長講演 「感染制御におけるパラダイムシフトー日本環境感染学会が目指すべき未来像ー」
 - 招請講演 「看護師のキャリア教育の動向と今後」
「医療事故調査制度について」
 - シンポジウム 「手指衛生遵守率の評価とフィードバックー最新技術を用いた先端施設の取り組み」
「感染制御の戦略ーどのように推進しますかー」
「看護師特定行為研修を感染管理に活用する」
「今だから知りたい口腔衛生管理の基礎知識」
「抗菌薬適正使用支援プログラムをめぐる新しい展開」
「どっぷり浸りたいあなたへー透析関連感染サーベイランスを元にした感染対策から、透析室で日常遭遇する感染症対策までー」
「薬剤師が ICT, AST メンバーの中で果たす役割を今改めて考える」
「2017 年の感染制御に関する Top Papers」
「医療機関・行政・企業におけるバイオセーフティを考える」
「VRE アウトブレイク：地域における蔓延をどう阻止するか？ー地域での蔓延阻止は地域連携が鍵を握るー」
「感染制御のエビデンスを作る」
「日本における *Clostridioides (Clostridium) difficile* の流行状況と感染対策」

「Antimicrobial stewardship team のための MRSA 感染治療戦略」

「感染制御担当者に求められるマネジメント力」

「診療科の特殊性を考慮した感染対策」

「感染症診断・治療・制御における4職種役割と他職種に望むこと」

「欧米ガイドラインからみた手術部位感染予防対策」

「効果的な抗菌薬適正使用支援を押し進めるために必要なエレメントは？」

パネルディスカッション

「軟性内視鏡器具の再生処理に関する課題と動向」

「環境浄化の新しい技術と医療現場への応用」

「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）を取り巻く現状：課題と対策」

「国外で拡散し国内へ持ち込まれる薬剤耐性菌と感染対策」

「サーベイランスデータに基づいた現場実践～効果的なサーベイランスのフィードバックに向けた私たちの取り組み～」

「施設内アウトブレイク こんなとき ICT はどうする？」

「アウトブレイクの経験をどのように活かすか」

「HIV 感染症患者の入院・入所の拡大のためにできること」

「シングルユース製品（SUD）を取り巻く諸問題」

「地域包括ケアシステムを推進するために必要な感染対策の視点～病院，施設，住宅等様々な立場から～」

「インフルエンザ対策—どこまで行うか—」

教育講演

「知っていますか？ B 型肝炎教育のこと：医療従事者養成課程における実態と課題」

「大規模災害における口腔保健活動の課題」

「ベッドパンウォッシャー：フラッシュャーディスプレイインフェクター（FD）の適正使用」

「薬剤耐性・アウトブレイクとコスト」

「培養検査のプロセスを考える～原因菌を確実に検出するために～」

「在宅ケアにおける感染管理の考え方～地域包括ケアシステムの推進に備える」

「肺結核の院内感染対策～空気感染対策の実際と感染拡大防止の方法～」

「AMR・HAI サーベイランスの今後」

「学校・保育園・幼稚園における感染予防—日常的な指導とアウトブレイク発生時の支援の実際」

「病院清掃委託事業者は医療サービスの質向上の担い手」

「カテーテル関連尿路感染を減らすサーベイランスと対策」

「感染対策を『習慣』にするサーベイランスデータの活用」

	「SSI 防止ガイドラインをどう考えるか」
	「JANIS データの利用法について」
	「消毒薬の適切な使用と新世代消毒薬」
	「感染管理と栄養」
	「実用化が期待されるワクチンの概要と展望」
	「ファシリテッドッグと感染対策」
	「院内感染する輸入感染症—麻疹, 中東呼吸器症候群 (MERS), インフルエンザ A (H7N9)—」
	「トコジラミの脅威：ムシすると取り返しのつかない事態に！」
	「4学会提言：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌への臨床的対応—CPE を対象とした感染対策の重要性—」
	「AMR アクションプラン 日本の戦略」
	「新規抗菌薬の必要性和開発状況」
	「ジェネリック抗菌薬についてもっと知ろう」
	「米国における医療疫学 (Healthcare Epidemiology) の現状とその方向性」
	「逆ギレされないコミュニケーション team STEPPS の活用」
ベーシックレクチャー	「感染制御に必要な統計学～統計を学ぶための第一歩～」
	「消毒薬の視点から覗く感染制御～実践に役立つ消毒薬の基礎知識」
	「微生物を知ろう：アウトブレイクを起こす細菌 パート 1」
	「微生物を知ろう：アウトブレイクを起こす細菌 パート 2」
	「大規模調理施設としての病院給食食品安全管理」
	「どうする？手術室」
災害時感染制御検討委員会企画	「感染制御のスペシャリストが担うべき災害時の役割～我々は何を学び、何を創ろうとしているのか～」
JHAIS 委員会企画	「サーベイランスのプロが伝授！ 2016 年 JHAIS サマリーと症例判定」
第 14 回教育委員会講習会	「あなたの施設にも CRE がやってくる」
日本環境感染学会多剤耐性菌感染制御委員会企画	「確認しよう！薬剤耐性グラム陰性桿菌の基礎知識と感染対策の実践」
日本環境感染学会 職業感染制御委員会との合同企画	「職業感染制御委員会企画」
編集委員会企画	「臨床の知見をエビデンスにする—アクセプトされる論文を書くために」
日本外科感染症学会合同企画	「手術部位感染予防の考え方—エビデンスの解釈とコストについて」
日本医療薬学会合同シンポジウム	「AMR 対策アクションプランへの貢献：両学会がどのように関わっていくか・どのように結果を出していくか！」
日本救急医学会合同企画	「『救急外来部門における感染対策』の標準化に挑む 2017」

	「第一部：合同 WG 活動報告 2017」
	「第二部：感染対策をディベートで考える！救急医 vs 感染制御医」
新生児感染症管理予防研究会合同シンポジウム	「NICU の感染制御一次の 10 年に向けた課題 3 選」
職業感染制御研究会企画 (シンポジウム、ベシクルレクチャー)	「血液体液曝露の残された課題」
	「研究にエピネットデータを利用するにあたって知るべきこと」
私立医科大学病院感染対策推進会議企画	「病院における薬剤耐性菌対策—私立医科大学病院感染対策推進会議データからの考察」
あり方委員会企画	「ファシリティマネジメント 感染管理担当者のあり方を考える」
ICD 講習会	「本邦における医療関連感染サーベイランスを知ろう—医療関連感染サーベイランスとその活用による感染対策—」

他、一般演題（口演、ポスター）、共催セミナーなど。詳しくは総会ホームページをご参照ください。

6. 企業展示

国際館パミールで開催いたします。

7. 参加登録について

事前参加登録を終了いたしました。

なお、当日登録費は 11,000 円となります。

(学生登録費は無料です)

8. 宿泊のご案内

2017 年 11 月 17 日（金）から総会ホームページより申込いただけます。

申込締め切りは 2 月 6 日（水）となります。

9. お問い合わせ先

第 33 回日本環境感染学会総会・学術集会 運営事務局

株式会社コングレ

〒102-8481 東京都千代田区麴町 5-1 弘済会館ビル 6F

TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552

E-mail：jsipc2018@congre.co.jp

10. 総会ホームページ：http://www.congre.co.jp/33jsipc/